

申請先: 財団法人全国地域情報化推進協会 事務局

「共通IF方式の統合DB製品」PF準拠確認チェックリスト

APPLIC 登録番号: K000405-0006 ★APPLICで記載

(1) 対象標準とバージョン

・プラットフォーム通信標準仕様V2.0 ・アーキテクチャ標準仕様V2.0

(2) PF準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦年月日): 2010年1月28日

(b) 申請区分(新規、修正、破棄): 新規

(c) 申請者

団体名: 日本アイ・ビー・エム株式会社 ★識別キー項目1

団体のURL: http://www.ibm.com/jp/ja/ (識別キー項目3つで

APPLIC会員番号: ユニークになるように申請者が指定する)

(d) 製品情報

製品説明のURL: http://www.ibm.com/jp/domino02/NewAIS/aisextr.nsf/ByLetterNo/DBA09066

代表製品名: DB2 ★識別キー項目2

複数製品で構成する場合追記:

複数製品で構成する場合追記:

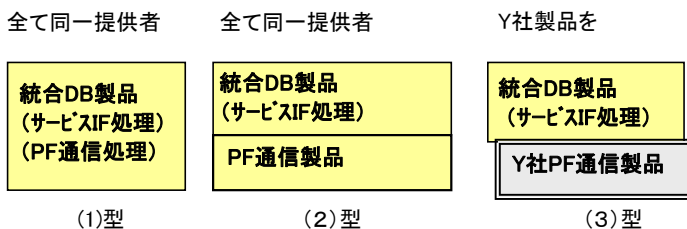
複数製品で構成する場合追記:

製品識別情報(バージョン等): 9.7 ★識別キー項目3

リリース日(予定)(西暦年月日): 2009年 06月 19日

対応OS: Linux Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 5 SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 10 および 11 Windows 32ビットおよび64ビット(x64) Windows Server 2003, Standard Server, Enterprise Server, および Datacenter Edition 32ビットおよび64ビット(x64) Windows Server 2008, Standard Server, Enterprise Server, および Datacenter Edition 32ビットおよび64ビット(x64) Windows XP Professional Edition 32ビットおよび64ビット(x64) Windows Vista Business, Enterprise, および Ultimate Edition AIX AIX 5L V5.3 AIX V6.1 HP-UX HP-UX 11i v2 for HP Integrity サーバー (Itanium ベースのシステム) HP-UX 11i v3 for HP Integrity サーバー (Itanium ベースのシステム) Solaris Solaris 9 for UltraSPARC または SPARC64 サーバー Solaris 10 for UltraSPARC または SPARC64 サーバー Solaris 10 for x64 サーバー DB2 on Linux on System z は、DB2 Enterprise Server Edition でのみサポートされます。 数々の DB2 製品に対するオペレーティング・システムのサポート・レベルは、頻繁に更新されます。サポートされるソフトウェア・レベルの現行情報(推奨されるメンテナンス・レベルを含む)を入手するには、以下のサイトにアクセスしてください。 http://www.ibm.com/software/data/db2/udb/sysreqs.html

製品の形態((1)型から(3)型): (2)型



前提となるPF通信製品 前提PF通信製品名: WebSphere Enterprise Service Bus ※1 前提PF通信製品名: ※1

※1 (2)型、(3)型の場合、既に、準拠登録申請してあるPF通信機能を実装する製品名を記載する。

【付録3】

地域情報プラットフォーム準拠確認チェックリスト：「サービス基盤」

(3)PF準拠確認チェック項目(準拠ルール)

※：下記の機能が実装された製品でなく、ソリューションによる提供場合、「前提事項や制限事項」の欄にそのことを記載すること

◎：対応、○：制約のあるもの(制約がある場合は備考欄に記載する)↓

番号	準拠ルール (番号(CS-RXXXX)は、サービス基盤標準書に記載のある関連準拠ルールの番号)	必須/ 選択	サイト内	
			製品・ システム 確認	APPLIC 確認欄
1	「PF通信(PF通信機能)」製品 PF準拠確認チェックリストにおける準拠ルールを満たす	必須	◎	
1-1	HTTP通信(IPv4、HTTP1.1)を行えること (CS-R020001、CS-R020002)	必須	◎	
1-2	SOAP通信(SOAP1.1、document/literal、WS-I「ベリックアップ」ロファイル1.0)を行えること (CS-R020003、CS-R020004)	必須	◎	
1-3	標準仕様書で定義するXMLインスタンスの形式に対応できること (CS-R032001)	必須	◎	
1-4	標準仕様書で定義するサービスインタフェース定義に対応できること (CS-R032003)	必須	◎	
1-5	PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること (CS-R060002、CS-R060005、CS-R060009)	必須	◎	
2	アーキテクチャ標準仕様4.5.4節「統合DB機能」における共通IF方式の機能要件を満たす	必須	◎	
2-1	利用I/Fとして、1つ以上の業務ユニットインタフェース標準を実装していること (AS-R045403)	必須	◎	
2-2	利用I/Fとして、SQLによるインタフェースを提供していること (AS-R045404)	選択	◎	
2-3	提供側業務ユニットが公開するPOP 型データ提供機能(業務ユニットインタフェースまたはSQL)を使って、提供側業務ユニットの業務データを取得できること (AS-R045406)	必須	◎	
2-4	統合DB と業務ユニットの間で交換されるデータの文字コードとしてPF 標準(UTF-8 または16)を使用できること (AS-R04540)	選択	◎	
2-5	外字を扱えること (AS-R045408)	必須	◎	

備考欄(前提事項や制限事項)

--